

北播磨地域 景観資源データベース【加東市】

景観資源の名称	景観資源の内容	ふるさと兵庫を構成する主要な景観※1				所在地	百選等の実績	景観シート※2
		①	②	③	④			
鯉のぼり・ひな人形	<p>加東市東条地域で作られている鯉のぼりは「播州鯉」と呼ばれ、豪華さが大きな特徴である。筆で描いていた時代から、胴体の真ん中に大きく家紋や金太郎が入った独創的な鯉のぼりが作られている。また、鯉のぼりに金色を使用する技法は、特に関西で大変な人気を誇る。</p> <p>鯉のぼりはひな人形作りと同様に、農閑期の季節作業として始められたものである。明治30年(1897)頃、新定地区の藤原一雄氏と大畑地区の柴崎善之助氏が大阪の堺で学んだ製造方法を東条地域に持ち帰ったことが始まりといわれている。昔の鯉のぼりは、鯉を一匹ずつ土佐の和紙に筆で描いて仕上げていた。東条地域で鯉のぼり作りが盛んになったのは、当時の男児の節句祝いに欠かせなかった「幟絵旗」の生産地であり、複雑な絵柄を描くことができる職人が多くいたからだと考えられている。</p> <p>ひな人形は、明治時代に京都の職人から製法が伝わった。加東市では「着付師」とよばれる職人が、主に親王雛を作っている。ひな人形も鯉のぼりと同様、子どもの誕生を祝い、成長への祈りを込める日本の美しい伝統文化である。子どもたちの幸せと健康を願う地場産業である。</p> <p>(出典: かつうkids vol48、加東市HP、(一社)加東市観光協会HP)</p>					加東市		●
上鴨川住吉神社の神事舞	<p>上鴨川住吉神社の境内(市史跡)には、本殿(重文)・拝殿・舞殿(舞堂)・長床・御供部屋・小宮などの建物が建立されている。本殿は棟札から正和5年(1316)に創建され、現在の本殿は明応2年(1493)に再建された。昭和45年(1970)に解体修理が行われている。</p> <p>境内では、五穀豊穡・無病息災を祈願して、毎年10月の第一土曜・日曜日に神事舞(国重要無形民俗)が奉納される。本宮では神主の祝詞、盃ごとの後に、リオンサン舞・獅子舞・田楽・イリ舞・高足、そして翁舞・父尉・ミコの舞が演舞された後、祇園座による子供相撲が奉納される。</p> <p>神事舞は、宮座組織によって鎌倉時代の形態を厳格に留めて継承されており、中世の面影を体感できる貴重な舞踊として、全国的に知られている。</p> <p>(出典: 加東市HP)</p>					加東市上鴨川		●
やしろ鴨川の郷	<p>やしろ鴨川の郷は、緑と水に囲まれた農業体験と自然体験ができる施設である。メイン施設の「あぐりぴあ」は、旬の食材が味わえるレストランや宿泊室・実習室・研修室などを備えたくつろぎの館となっている。通年の作物販売に加え、夏にはブルーベリーの収穫体験ができる。サワガニのすむ小川が流れるキャンプ場やコテージ、テニスコート、グラウンドゴルフ場などを備え、魅力あふれるリゾートエリアとして人気を集めている。</p> <p>(出典: 加東市HP、(一社)加東市観光協会HP、ハートにぐっと北播磨HP)</p>	●				加東市上鴨川 1061-100		●

※1: ①豊かな自然景観 ②自然・緑あふれる農山村景観 ③表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ④地域固有の文化的景観

※2: ●印は景観シート有り。○印は関連する景観シートへの掲載を意味する。

北播磨地域 景観資源データベース【加東市】

景観資源の名称	景観資源の内容	ふるさと兵庫を構成する主要な景観※1 ① ② ③ ④	所在地	百選等の実績	景観シート ※2
状ヶ池公園	赤穂藩ゆかりの池を取り囲むようにツツジが咲く公園。5月下旬には隣の加東市社庁舎周辺でつつじまつりが開催され、ツツジの盆栽展や物産市などが行われる。姉妹都市の米国オリンピック市から贈られたモニュメント「オルカ像」と水鳥たちが頼る景観が市民に親しまれている。 (出典：ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)、ハートにぐっと北播磨HP)	●	加東市木梨	ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)	
アンジュ・スリアン	約20年に渡って出荷量日本一に輝いた「バラローナー・ローゼ」など、数々のバラを生み出された日本を代表するバラ育種家・浅見 均さん(加東市栲鹿谷)から寄贈いただいたバラのうちの一種。寄贈いただいたときには、名前がまだついていなかったことから、市民からの公募によって、天使の微笑みとの意味を持つ『アンジュ・スリアン』と名づけられた。 名付け親となった神戸滋和さんによると「見ると誰もが笑顔になる花になってほしい」「加東市に笑顔を広め、笑顔象徴する花になってほしい」との願いを込めたとのことである。	●	加東市社50・メモリアルガーデン内		●
社町上中の大ムク	幹周650cm、太い幹は株元ほどさらに太くなり、樹高も20mと堂々とした風格である。県下では今まで、あまり注目されていなかったが、その幹の太さといい、樹形の風格といい巨樹・巨木100選にふさわしい。兵庫県の内陸部の平原地帯にあって、今までアラカシやエノキなど県下屈指の巨木が記録されていたが、このムクノキも大切にしたい巨木である。すぐ隣には一回り小さいがやはり、ムクノキの巨木が残されている。周辺は公共施設が建ち並び、広々とした公園の一角を占めており、地域のランドマークとなっている。 (出典：ひょうごの巨樹・巨木100選(社団法人兵庫県林業会議、社団法人兵庫県治山林道協会 平成17年10月))	●	加東市上中3-9	ひょうごの巨樹・巨木100選(社団法人兵庫県林業会議、(社)兵庫県治山林道協会)	
加東市明治館	明治館は、元加東郡公会堂で、今から100年余りに建てられた建築物である。敷地の一角には、旧社町出身の兵士を慰霊した忠魂碑が建てられている。明治22年(1889)、町村制が実施され、加東郡(現在の加東市と小野市域)に15の村が発足した。そのうち、加東市域には社村をはじめ9か村が発足した。その後、明治29年(1896)には郡制が制定され、県の下に正式な自治団体としての郡が置かれた。明治44年(1911)12月の郡会において、加東郡公会堂を社村に建設することが決議され、翌45年(1912)に公会堂が完成した。大正末に郡制が廃止されたあとは、社町の公会堂として利用されてきたが、現在は明治館として地域の催しや文化団体の活動に使われている。 (出典：ひょうごランドスケープ100景(兵庫県))	●	加東市社777	ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)	●
やしろステラパーク	「星のように美しい公園」の願いを込めて命名された中央公園。芝生広場に外国人を含む作家12人の彫刻作品「12星座のモニュメント」が並ぶ。ステラパークからは、茜色に染まるまちなみが一望でき、夕暮れとともに家々に灯る明かりが郷愁を誘う。8月には「加東市夏のおどり」が開催される。 (出典：ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)、加東市HP)	●	加東市社	ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)	●
佐保神社	佐保神社は、北播磨地方随一の大神といわれ、承元4年(1210)には既に播磨有数の神社であるとの記録がある。現在の社殿は延享4年(1747)に再建されたものである。正面に本殿・拜殿、手水舎・舞台・行者堂などがある。 毎年10月の体育の日の前日に御輿や太鼓屋台が境内を練りまわる秋祭りは北播磨有数の規模で、にぎわいの景観をみせている。 (出典：ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)、加東市HP)	●	加東市社777	ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)	●

※1:①豊かな自然景観 ②自然・緑あふれる農山村景観 ③表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ④地域固有の文化的景観
※2:●印は関連する景観シートへの掲載を意味する。

北播磨地域 景観資源データベース【加東市】

景観資源の名称	景観資源の内容	ふらさと兵庫を構成する主要な景観※1 ① ② ③ ④	所在地	百選等の実績	景観シート※2
ホテル	豊かな自然が多く残る加東市では、市内各地の川や農業用水路など、様々な場所ホテルの姿を目にすることができる。ホテルの個体数も多く、名所として知られているのは、上鴨川・下鴨川・平木地区がある鴨川地域や、山口地区、馬瀬地区など。日が暮れた後の川沿いで見られる、小さな光が飛び交う様は、加東市の初夏を彩る風物詩となっている。	●	加東市上鴨川、下鴨川、平木、山口、馬瀬		●
ヤシロメモリアルガーデン周辺地区	メモリアルガーデン周辺地区は、既成市街地東部の段丘上に位置し、加古川流域に広がる田園風景に囲まれ、豊かな自然に恵まれた地区である。また、この地区は町政30周年記念のメモリアルガーデンを中心に、東西及び南北に伸びる東条社線、社外環状線というシンボルロード沿いに広がり、多くの人々が集い、交流する場でもある。歴史的に育まれた緑や水辺を活かしつつ、緑豊かな公園、街路と一体となった建築物及びその敷地の景観の整備に努めるとともに、特にメモリアルガーデンを中心として官公庁施設が集まるシビックゾーンについては、人々の交流拠点として住民の心の拠り所となるようなシンボル性の高い景観づくりを目指している。平成元年(1989)3月に景観条例に基づいて都市景観形成地区に指定されている。 (出典:社町メモリアルガーデン周辺地区 景観ガイドライン)	●	加東市社、木梨、山国、ひろのが丘		
王子ヶ池	王子ヶ池の湿地にはかつて食虫植物やラン科植物が多く見られ、特にトキソウの群生が目立っていたが、資材置き場になるなど、小さな命が失われていく。 (出典:播磨のため池(神戸新聞総合出版センター))		加東市山国		
観音寺	大悲山観音寺は、十一面観音菩薩立像を本尊とし、貞享3年(1686)に開基され、元禄12年(1699)に本堂が建立された。 赤穂義士で有名な赤穂藩浅野家の祈願所であったことから、弘化4年(1847)に赤穂義士150回忌を記念して四十七士の供養墓碑が建立され、義士の寺として親しまれてきた。供養墓碑は、加東市、小野市、加西市、丹波市域の人々の香進によるもので、浅野内匠頭(あさのたくみのかみ)の石碑を中心に、大石良雄ら四十七士の石碑がこれを取り巻く形で祀られた菩提所(市史跡)である。 現在も12月14日に「加東市赤穂義士祭」が行われている。当時は恩んで多くの参拝者でにぎわい、北播磨一円の義士顕彰の拠り所となっていた。 (出典:加東市HP、(一社)加東市観光協会HP、ハートにぐっと北播磨HP)	●	加東市家原14-4		●
千鳥川桜堤公園	京都嵯峨野三代桜守・佐野藤右衛門氏の指導により、千鳥川両岸に「紅八重枝垂桜」100本を植栽した桜の名所となっている。春の開花時期には多くの市民、県民が訪れ、春の景観を満喫できる場となっている。 (出典:ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)、加東市HP、(一社)加東市観光協会HP)	●	加東市梶原	ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)	●
小寺彦兵衛の塚	小寺彦兵衛は、下久米の庄屋の家に生まれ、天保飢饉の際の農民の困窮を肩かねて巡礼し、土佐に旅して釣針製造技術を学んで帰ったという。彦兵衛によって技術が伝えられて以来、釣針製造は農家副業として広がり、明治には彦兵衛商標で西日本一帯に播州釣針が売られていった。小寺彦兵衛の塚は地場産業を象徴する景観資源である。 (出典:兵庫歴史散歩(歴史散歩刊行会発行))	●	加東市藤田		

※1:①豊かな自然景観 ②自然・緑あふれる農山村景観 ③表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ④地域固有の文化的景観

※2:●印は関連する景観シートへの掲載を意味する。

北播磨地域 景観資源データベース【加東市】

景観資源の名称	景観資源の内容	ふるさと兵庫を構成する主要な景観※1 ① ② ③ ④	所在地	百選等の実績	景観シート※2
平池公園	平池は、二千年以上前の種子から発芽した大賀ハスをはじめ、約100種類ものハスやスイレンがある水生植物の宝庫である。6～7月には大賀ハスの可憐な花が池に広がる。平池公園は、ため池を中心とする緑豊かな景観を創出し、地域住民の自然観察と憩いの場として利用されている。 (出典：加東市HP)	●	加東市東古瀬 453-1	ひょうごランドスケープ100景 (兵庫県)	●
大芋神社	大芋(おおくも)神社の鳥居は、高さ2.43m、柱の真心は2.55mを測る高室石製の鳥居で、神社参道の東方に建立されている。高さが低くどっしりとした感じを受ける。額東に「大芋大明神」とあるほか、左右の柱にある刻書から、寛永2年(1625)に上田・野村・仁我井(現・福吉)三ヶ村の氏子らによって建立されたことが分かる。江戸時代初期の石鳥居の形態をよく留めており、貴重であることから、県の文化財に指定されている。鳥居の前には、地域の方々によって花壇が作られており、大切に保存されている地域の貴重な景観資源である。 (出典：(一社)加東市観光協会HP)	●	加東市上田783		
弥谷池	弥谷池は、今から150年前の文久2年(1862)に、干害を救うため大庄屋井上庫八郎によって造られた。その後、何度も改修工事が行われ、昭和56年(1981)から始まった改修工事により、今の姿になっている。弥谷池の北側の水路は東実の大池につながっている。また、東側には鴨川ダムから約16kmの水路を通って、水が来ている。樋からは沢部の田に水を送っている。 隣接する福田小学校では、環境学習の取組みを進めるとともに、多くの人のためにため池に来てもらい、その重要性を知ってもらうために、看板の設置をはじめ、柵や東屋の清掃などを行っている。ため池に隣接してテニスコートや体育館などスポーツゾーンと憩いの広場があるなど、県民、市民に親しまれる景観をつくりだしている。 (出典：ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)、弥谷池パンフレット(福田小学校作成))	●	加東市東実	ひょうごランドスケープ100景 (兵庫県)	
県立やしろの森公園	県立やしろの森公園は、美しい雑木林に囲まれた湿地、ため池、田畑などが点在する里山公園であり、自然の中で四季折々のイベントや体験プログラムが満喫できる。やしろの森公園ではボランティアスタッフが中心となり、里山の自然文化の保護と育成に取り組んでいる。また、県民が森に親しみながら、森の大切さを考えることができるようなプログラムを実施しており、里山景観の再生の過程が感じられる場がある。 (出典：兵庫県HP、加東市HP、(一社)加東市観光協会HP、ハートにぐつと北播磨HP)	●	加東市上久米 1081-3	ひょうごの森百選(兵庫県)	●
朝光寺	朝光寺は、法道仙人の開基と伝えられる国宝で、本堂は、細部に和様・唐様の折衷様を呈した方七間の堂々たる建造物である。室町時代初期の建築といわれている。 毎年5月5日に奉納される鬼追踊は、県の重要無形民俗文化財に指定されている。踊りの由来は明らかではないが、その起源は室町期といわれる。翁(住吉明神)と赤鬼は松明を、青鬼・黒鬼・善鬼はそれぞれ斧・剣・錫杖を持ち、太鼓の音に合わせて踊る。踊りは単調な鐘の拍子にのり、足を踏み鳴らし、採物を振る所作を繰り返して、五穀豊穡・無病息災を祈る。最後の「餅割り」では櫛(しきみ)で包んだ鏡餅を松明で焼く。 (出典：ふるさとの原像(神戸新聞総合出版センター発行)、加東市HP、(一社)加東市観光協会HP、ハートにぐつと北播磨HP)	●	加東市畑609		●

※1:①豊かな自然景観 ②自然・緑あふれる農山村景観 ③表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ④地域固有の文化的景観
※2:●印は関連する景観シートへの掲載を意味する。

北播磨地域 景観資源データベース【加東市】

景観資源の名称	景観資源の内容	ふるさと兵庫を構成する主要な景観※1 ① ② ③ ④	所在地	百選等の実績	景観シート※2
鬮竜灘、滝野舟座跡	流域面積の広さと流れの穏やかさにより、古くから舟運が発達した加古川では、輸送の主役が鉄道などの陸路に移るまで、高瀬舟が流域での最も効率的な輸送手段であった。加古川の舟運上の最大の難所だったのが、鬮竜灘である。江戸末期の漢詩人・梁川星巖（やながわせいがん）の命名によるもの。川床一面の岩盤で遮られた水が飛沫を飛び散らせながら流れ下る様子は、その名にふさわしい豪快な風景である。かつてはこの地形を利用し、滝を昇ろうとした鮎を捕える「飛び鮎漁」も盛んだった。毎年5月1日には、日本一早く鮎漁が解禁される。 (出典：ひょうご風景100選(神戸新聞総合出版センター発行)、ひょうご風景100選 風と歩く(朝日新聞神戸支局発行)、加東市HP)	●	加東市上滝野	ひょうごランドスケープ100景(兵庫県) 私の好きな兵庫の風景100選(兵庫県) 風と歩く「ひょうご風景100選」(朝日新聞)	●
滝見橋	滝見橋は鬮竜灘の下流部に位置する橋で、橋のすぐ近くには、石畳に刻まれた階段があり、船着き場跡が往時の加古川水運の栄光をとどめている。滝見橋の下流には「姫滝」とよばれる小さな滝がある。 (出典：ひょうごランドスケープ100景(兵庫県))	●	加東市上滝野、新町	ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)	●
神結酒造	神結酒造は、加古川の鬮竜灘の下流に位置する創業100年以上の酒造会社である。地元加東市の山田錦と霊峰五峰山の伏流水を用い、全国新酒鑑評会で7度の金賞を受賞するなど、熟練の杜氏が日本中に轟く銘酒を醸している。主銘柄は「神結」、「鬮竜灘」で、甘口から辛口、大吟醸から純米、本醸造まで様々なタイプの日本酒が揃っている。 工場の建物は鋳屋根を持つ木造の和風建築であり、歴史の深さを感じさせる景観資源である。 (出典：加東市HP、(一社)加東市観光協会HP、ハートにぐっと北播磨HP)	●	加東市下滝野474		●
滝野温泉 ぼかぼ	加東市が誇る天然温泉「滝野温泉ぼかぼ」。静岡県の熱海温泉や大分県の別府温泉と同じ弱アルカリ性のカルシウム・ナトリウム塩化物泉で、ミネラルを豊富に含み、保温・保湿効果が非常に高いと評判である。お風呂は、古くから播磨高野と賞されている「五峰山」をイメージした「山の湯」、加東の名勝「鬮竜灘」をイメージした「川の湯」に分かれ、洞窟温泉やログハウスのサウナ、低温風呂などが楽しめる。	●	加東市下滝野1283-1		●
県立播磨中央公園	播磨中央公園は、総面積382haを有する県下最大級の公園である。緑の樹林に囲まれた丘や大小の池が散在する自然豊かな園内には、野外ステージをはじめ、ふじいでんこうさいくろらんど、野球場、子ども森、バラ園、グリーンアドベンチャーなどの施設が整い、文化、スポーツ、レクリエーションなど、多くの人々に親しまれている。 バラ園では、100種類に及ぶ色とりどりのバラが楽しめる。 播中おもいで橋は、旧神戸電鉄栗生線加古川橋梁の第一連を歩道橋として、平成15年(2003)に移築したものである。 (出典：兵庫県近代化遺産(兵庫県教育委員会)、加東市HP、(一社)加東市観光協会HP、ハートにぐっと北播磨HP)	●	加東市下滝野1275-8		●
バラ園(播磨中央公園)	バラ園では、100種類に及ぶ色とりどりのバラが楽しめる。 (出典：ひょうごランドスケープ100景(兵庫県))	●	加東市下滝野1275-8		○

※1: ①豊かな自然景観 ②自然・緑あふれる農山村景観 ③表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ④地域固有の文化的景観
※2: ●印は関連する景観シートへの掲載を意味する。

北播磨地域 景観資源データベース【加東市】

景観資源の名称	景観資源の内容	ふるさと兵庫を構成する主要な景観※1 ① ② ③ ④	所在地	百選等の実績	景観シート※2
播中おもいで橋(播磨中央公園)	播中おもいで橋は、旧神戸電鉄栗生線加古川橋梁の第一連を平成15年(2003)に移築したものであり、近代化遺産として守られている。 (出典:兵庫県の近代化遺産(兵庫県教育委員会))	●	加東市下滝野 1275-8		○
加古川流域滝野歴史民俗資料館	加古川は加東市を育んだ川であり、播州鉄道開通までの約320年間、「高瀬舟」による舟運が行われてきた。歴史民俗資料館は、昭和55年(1980)に、加古川舟運の歴史を後世に継承し、伝えることを目的として設立され、流域の民俗資料を収集・展示している。館内には、江戸期から大正期まで続いた加古川舟運の舟や舟問屋、農漁業の道具など当時の生活を紹介する道具類を展示しており、地域の歴史と民俗を学ぶ場としての景観資源となっている。 (出典:加東市HP、(一社)加東市観光協会HP、ハートにぐっと北播磨HP)	●	加東市下滝野 1369		●
旧滝野町庁舎	旧滝野町庁舎は、加古川流域歴史民俗資料館に隣接しており、レンガ造りの美しい建築物である。 (出典:ひょうごランドスケープ100景(兵庫県))	●	加東市下滝野 1269-2	ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)	
五峰山光明寺	五峰山の頂上付近に法道仙人の開創と伝えられている五峰山光明寺の伽藍が広がっている。多聞院・遍照院・大慈院・花蔵院という塔頭が並び、山門を入ると、文殊堂・鎮守社、常行堂、さらに階段を上ると大正14年(1925)に再建された入母屋造り銅板葺きの本堂(国指定文化財)が目の前に迫る。本堂の傍には釈迦如来立像と地藏菩薩立像の二尊が祀られ、毎年5月3日の花祭り(仏生会)には多くの人々が参拝される。加東四国八十八か所霊場巡りの一番霊場になっている。 観応2年(1351)、足利尊氏(たかうじ)とその弟直義(ただよし)が対立した光明寺合戦は「太平記」に記載されているほか、文明17年(1485)赤松政則(まさのり)と山名政豊(まさとよ)の戦いでは光明寺の3院21坊が宿坊として割り当てられており、幾多の争いの場でもあった。 紅葉の名所としても知られるほか、6~7月にはアジサイが見ごろを迎える。シイの原生林が広がり、日々の散策・ハイキング・森林浴の場として生活に密着したエリアでもある。 広大な播磨平野が一望できるみはらし台では、天気によれば淡路島まで望むことができる。 (出典:ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)、加東市HP、(一社)加東市観光協会HP、ハートにぐっと北播磨HP)	●	加東市光明寺 433	ひょうごランドスケープ100景(兵庫県) ひょうごの森百選(兵庫県) ひょうごの森林ひょうごの森林浴場50選(兵庫県)	●
五峰山 駐車場	五峰山光明寺の駐車場からは、東側に旧滝野町の町並みを望むことができる。 (出典:ひょうごランドスケープ100景(兵庫県))		加東市光明寺 433	ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)	○
みはらし台	五峰山光明寺のみはらし台からは、広大な播州平野が一望にできる。東側には旧滝野町の町並みが、天気によれば淡路島まで見ることができる。 (出典:ひょうごランドスケープ100景(兵庫県))		加東市光明寺 433	ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)	○
河高コスモス	河高地区では、JR加古川線の線路に沿って、約1.5haの休耕地に約30万本ものコスモスがいつせいに咲き乱れる。毎年10月下旬~11月上旬には河高コスモス祭りが開催される。 一面に咲く市花コスモスと周辺に広がる黄金色の稲穂の中をJR加古川線の鉄道が駆け抜ける姿は、秋の加東市を代表する景観の一つである。 (出典:加東市HP、(一社)加東市観光協会HP、ハートにぐっと北播磨HP)	●	加東市河高		●

※1:①豊かな自然景観 ②自然・緑あふれる農山村景観 ③表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ④地域固有の文化的景観
※2:●印は関連する景観シートへの掲載を意味する。

北播磨地域 景観資源データベース【加東市】

景観資源の名称	景観資源の内容	ふるさと兵庫を構成する主要な景観※1 ① ② ③ ④	所在地	百選等の実績	景観シート※2
河高住吉神社	河高住吉神社は、加古川の岸辺付近に位置しており、境内にある県指定文化財の石鳥居は室町時代に高室石で製作されたものと考えられている。石鳥居は、2.76mと低いのが特徴で、どっしりとした印象を受ける。境内には大木が数豊かな社叢を形成しており、ゆったりとした加古川の流れとともに自然と歴史を感じることでできる景観資源となっている。 (出典：ふるさと文化の創造的伝承(H17.3 兵庫県教育委員会)、加東市HP、(一社)加東市観光協会HP)	●	加東市河高 2480		●
春日神社	JR滝野駅のすぐ北側には、上滝野春日神社がある。創建は推古2年(594)で、五峰山光明寺を守護する神社として開かれたとされている。 毎年7月には、茅の輪くぐり神事が行われる。また、毎年10月第1日曜日には、獅子舞の奉納や太鼓屋台の宮入りが見られる秋大祭が催され、多くの人でにぎわう。	●	加東市上滝野 915-1		●
ふじいでんこうさいくらんど	ふじいでんこうさいくらんどには、1周3キロのサイクリングコースと、おもしろ自転車やバッテリーカーなどを楽しめるサイクル広場(0.9ヘクタール)がある。同施設は、昭和58年(1983)4月に開設され、平成27年(2015)から、愛称を付ける権利を販売する『ノーミングライツ』により、現在の名称となった。 親子連れを中心に年間約8万人が利用する同施設は、加東市内でも屈指の人気を誇る観光スポットとなっている。	●	加東市下滝野 1275-8		●
夕日ヶ丘パークゴルフ場	芝で覆われたコースの中で、一般的なゴルフと同様に、カップインするまでの打数を競い合って遊ぶ『パークゴルフ』。ゴルフのまち・加東では、パークゴルフにおいても、他地域に先駆けて2コース・計18ホールの本格的なパークゴルフ場を整備している。 幅広い年代で気軽に遊べることから、年々人気が増している競技で、同ゴルフ場では、連日、多くの競技者が集い、和気あいあいと楽しんでいる姿が見られる。	●	加東市河高 3014-17		●
安国寺	東溪山安国寺は、將軍足利尊氏・直義の兄弟が、夢窓国師(むそうこし)の勧めによって、内乱による死者の鎮魂・追善や国家安全を目的として、一国一寺、全国60余州に建立しようとした寺院のひとつである。固山一輩(ごさんいちきょう)を開祖として、暦応2年(1339)に東条川を見下ろす新定の高台に建立されたと伝えられており、現在の本堂は、明治29年(1896)に再建された。 安国寺は足利家ゆかりの寺院であり、嘉吉の乱において赤松満祐によって暗殺された室町幕府6代将軍、足利義教の首が手厚く葬られている。境内裏には首塚である高さ1.7mの宝篋印塔がほとんど完全な形で保存されており、室町時代中期の優れた石造物としても重要な景観資源となっている。 (出典：加東市HP、(一社)加東市観光協会HP、ハートにぐっと北播磨HP)	●	加東市新定851		●
東条温泉 とどろき荘	東条温泉は、数百年前から東条川岸で湧出している温泉であり、神経痛やアトピーなどに効能がある。鎌倉時代末期、戦いの際に武士たちの体を癒したと伝えられている。また、足利氏が戦の傷や病を癒したとも伝えられており、歴史を感じさせる資源である。 (出典：加東市HP)		加東市岡本 1571-1		

※1:①豊かな自然景観 ②自然・緑あふれる農山村景観 ③表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ④地域固有の文化的景観
※2:●印は関連する景観シートへの掲載を意味する。

北播磨地域 景観資源データベース【加東市】

景観資源の名称	景観資源の内容	ふるさと兵庫を構成する主要な景観※1 ① ② ③ ④	所在地	百選等の実績	景観シート※2
東福寺	亥の子祭り、旧暦10月、亥の日の亥の刻に行われ、「亥の子の祝い」、「亥の子」、「亥猪(げんちよ)」などと呼ばれ、稲の収穫祭として亥の子の神を祭る西日本に多く分布する行事である。猪の多産にあやかり、亥の月(10月)の初めの亥の刻(21時から23時)に、新穀でついた亥の子餅を食べ、無病と子孫繁栄を祈る年中行事でもある。 また「亥の子節供は夕節供」といういわれがある。子供たちの行事もすべて夜行われた。江戸時代には、この日に炬やこたつを聞き、火鉢を出し始める習慣があった地域もある。 東福寺の亥の子まつり・火渡り行は、農作物の豊作を祝い、感謝する伝統行事として、毎年12月第1日曜日に行われている。火渡りなどがあり、豪壮な火の祭りと知られている。 (出典:加東市HP、ハートにぐっと北播磨HP)	●	加東市松沢720		●
坂本遼の詩碑	加東市出身で全国的に知られる詩人・坂本遼。その代表作である『おかんはたつた一人峠田のてっぺんで鉄にもたれ…』で始まる『春』(詩集『たんぼぼ』)の詩碑が、現存する生家の近くにある。 坂本遼は、郷土の言葉でつづった詩作品を多く遺している。彼がこよなく愛した加東市の風景は、彼の作品世界や心象に触れられる景観であるともいえる。	●	加東市横谷73-1		●
黒谷婦人会駐車場	黒谷婦人会駐車場は、東条湖周辺を散策する起終点として位置づけられており、歩きながら、東条湖の湖畔を楽しむための施設である。駐車場の奥にも桜並木があり、春の満開時は絶景となる。また、駐車場の左手には船着き場が望め、視点場としても重要な場所である。 (出典:ひょうごランドスケープ100景(兵庫県))	●	加東市黒谷	ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)	
黒谷若宮八幡神社	黒谷若宮八幡宮の本殿は、全国でも数例の珍しい建築様式が用いられていることから、昭和37年(1962)に国の重要文化財に指定されている。8月には火の行事として知られる「柱祭り」が行われている。 (出典:加東市HP)	●	加東市黒谷275	ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)	●
東条川の桜並木	東条川では、加東消防署東条分署から下流約5.5kmの両岸に、ソメイヨシノやヤマザクラなど計950本の桜並木が整備されている。『西日本最大級の桜回廊』としても知られるこの桜並木は、開花時期になると多くの花見客でにぎわう。	●	加東市岡本1572-4		●
町道観光1号線	旧東条町の町道観光1号線で、東条湖南東部を走り、かつては東条湖商店街と呼ばれた湖畔のメーンストリートであったが、現在は旅館と売店が軒立地している。町道を進むと湖畔の堤防に至り、堤防南側の愛宕山に登ることができる。町道沿いは桜並木で初夏は新緑が映え、秋は紅葉が美しく、木漏れ日を楽しみながらの散策に最適なルートである。 (出典:ひょうごランドスケープ100景(兵庫県))	●	加東市黒谷	ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)	
東条湖おもちゃ王国	東条湖おもちゃ王国は、子どもが主役の見て・触れて・体験できるおもちゃのテーマパークである。春には園内のチューリップや桜、バラなどの花が咲き誇る。園内にはおもちゃで遊べるパビリオンや様々な乗り物や遊具、大レジャープール「アカブルコ」などの施設を備える。休日には様々なイベントや人気のキャラクターショーも開催され、子ども連れで賑わう。隣接して西洋風の白亜のリゾートホテルが建ち、非日常を楽しめる空間が広がっている。 (出典:加東市HP、(一社)加東市観光協会HP、ハートにぐっと北播磨HP)	●	加東市黒谷1216		

※1:①豊かな自然景観 ②自然・緑あふれる農山村景観 ③表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ④地域固有の文化的景観

※2:●印は関連する景観シートへの掲載を意味する。

北播磨地域 景観資源データベース【加東市】

景観資源の名称	景観資源の内容	ふるさと兵庫を構成する主要な景観※1 ① ② ③ ④	所在地	百選等の実績	景観シート※2
愛宕山	日本各地に愛宕山の名をもつ山があるが、多くは愛宕神社と関連のある山であるが、その大元の愛宕神社(山城国葛野郡)の名も山名に由来する。黒谷の愛宕山も愛宕神社を有し、頂上からは、足元に高さ43.5m、長さ97mのダムサイトが横たわる景観をみる事ができる。堤防を境に、湖、のどかな田園風景の両方が楽しめる視点場となっている。 (出典:ひょうごランドスケープ100景(兵庫県))	●	加東市黒谷	ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)	
水天宮	東条湖の湖畔に突き出した陸地に建つ水天宮。東条湖建設で水没した名もない諸神諸仏をしのび、地元の人々が湖の守護神として昭和34年(1959)に建立した。夏の前には「水天宮祭」が行われている。 (出典:ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)、ハートにぐっと北播磨HP)	●	加東市黒谷	ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)	●
東条湖	鴨川ダムとも呼ばれる東条湖は、最大貯水量838万トン誇る北播磨最大の水がめである。灌がい用のダム建設により誕生した人造湖で、昭和22年(1947)に起工され、5年がかりで完成した。小野市、加東市などに年間1860万トンの水を供給している。 ダム完成当時設立された地元観光協会により、ダム完成で湖上に誕生した屏風岩・五所ヶ渓谷・鷺の巣窟・蓬萊峽・鞍馬峽・妹背岩・不動岩・水天宮という奇勝景観が「東条湖八景」と定められた。 (出典:ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)、加東市HP、(一社)加東市観光協会HP、ハートにぐっと北播磨HP)	●	加東市黒谷	ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)	●
町道秋津古家線	旧東条町の町道秋津古家線は、東条湖の北東部を走り、沿道には洋風の別荘が建つ。所々から満々と水をたたえた東条湖の姿を望むことができる。木立に囲まれており、初夏は新緑が映え、秋は紅葉が美しく、木漏れ日を楽しみながらの散策に最適な道である。 (出典:ひょうごランドスケープ100景(兵庫県))	●	加東市秋津	ひょうごランドスケープ100景(兵庫県)	
秋津百石踊	秋津住吉神社で奉納される秋津百石踊は、元々千ばつ時のみ奉納される雨乞い踊りである。伝統文化の保存と後世への継承を目的に、現在は毎年4月に奉納されている。昭和47年(1972)に、兵庫県の無形民俗文化財に指定された。 踊りには、心棒打(しんぼううち)、太鼓打(たいこうち)、花笠、地歌、踊り子等、様々な役割がある。昔は地元の人男性しか参加できなかったが、現在は羯鼓打、花笠に地区内の子ども、踊り子に地区内の女性も参加している。 (出典:加東市HP)	●	加東市秋津		●
秋津富士	秋津富士は、加東市東部に位置する標高約320mの小高い山である。麓の登山口からは遊歩道が整備され、自然と眺望を楽しみながら散歩することができる。山頂周辺には6世紀頃の群集墳が点在しており、秋津3号墳という横穴式石室を持つ円墳がほぼ完全に残っている。山頂からは東条湖のほか、付近の町並みや田園風景を見渡せる。晴れている日には、明石海峡大橋まで眺望できる。 (出典:加東市HP、(一社)加東市観光協会HP、ハートにぐっと北播磨HP)	●	加東市秋津		●

※1:①豊かな自然景観 ②自然・緑あふれる農山村景観 ③表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ④地域固有の文化的景観
 ※2:●印は関連する景観シートへの掲載を意味する。

北播磨地域 景観資源データベース【加東市】

景観資源の名称	景観資源の内容	ふるさと兵庫を構成する主要な景観※1 ① ② ③ ④	所在地	百選等の実績	景観シート※2
秋津古墳群	秋津周辺には、13基からなる古墳群が広い範囲にわたって分布している。この山塊にほぼ完全に残っている。頂およびその麓には、横穴式石室を持つ円墳である秋津2・3号墳がほぼ完全に残っている。 (出典：ふるさと文化の創造的伝承(H17.3 兵庫県教育委員会)、加東市HP、(一社)加東市観光協会HP)	●	加東市秋津		●
禪龍寺	禪龍寺の現在の本堂は、江戸時代の元禄元年(1688)に再建されたもので、境内には他に不動堂、経蔵があり、かつては多宝塔もあった。また、不動堂の裏にある小道を登ると、山中に点在する祠を巡る散策道がある。道中には弁天堂や寺の名前の由来となったと言われる懸泉「禅瀧」があり、中近世の世界を彷彿とさせる景観が残されている。 (出典：ふるさと文化の創造的伝承(H17.3 兵庫県教育委員会)、加東市HP、(一社)加東市観光協会HP)	●	加東市栄枝72		●
ゆめのくにこうえん	ゆめのくにこうえんは、建設前からワークショップを開き、地域の子どもたちとともに作った公園である。トイ棟の壁面に飾る陶板や公園銘板を制作したり、子どもたちと共に成長するようにと記念植樹した樹木を育てていく活動を行ったりしている。再生木材を利用したスロープ沿いに誰でも安定して座れるゆりかご型のブランコや車いすで乗り場まで近づける滑り台、聴覚や視覚を使って遊べる遊具などが設置されており、自然の中の遊び場で、のんびりと過ごすことができる。 第4回「人間サイズのまちづくり賞」福祉部門を受賞(兵庫県)するなど、人によさしい景観をつくりだしている。 (出典：兵庫県HP、加東市HP)	●	加東市南山4-23-1		●
道の駅とうじょう	道の駅とうじょうは、加東市東部の玄関口である中国自動車道ひょうご東条インターチェンジに隣接し、職住複合機能都市「ひょうご東条ニュータウンインターパーク」内に位置している。交通や観光の拠点として様々なサービス施設を備えている。 併設する農産物直売所「コスモスの館」では、加東市内の生産者が育てた新鮮な農産物や加工品を取り扱っており、特産館「夢街人(ゆめまちびと)」では、加東市や周辺地域の特産品を取り揃えている。また、レストラン「獅子銀」では地元の新鮮野菜などを使った料理を楽しむことができる。 このように、道の駅とうじょうは地域情報の発信と交流の拠点としても機能しており、地域に親しまれたシンボルとなっている。 (出典：加東市HP、(一社)加東市観光協会HP、ハートにぐっと北播磨HP)	●	加東市南山11-5-3		●
アクア東条	東条湖や周辺地域に住む魚や水生生物を飼育・展示する『アクア東条』。アクア東条では、コイやフナ、ナマズやブラックバスなどの身近な魚から、近頃なかなか見られなくなったメダカやタナゴなど、淡水魚を中心に40種類以上の生き物が暮らしている。 アクア東条では、生き物を見るだけでなく、カメラなどに触ってみたり、ザリガニを釣ったりと、生き物とふれあえるコーナーも充実している。	●	加東市黒谷1197-23		●

※1:①豊かな自然景観 ②自然・緑あふれる農山村景観 ③表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ④地域固有の文化的景観
※2:●印は景観シート有り。○印は関連する景観シートへの掲載を意味する。